

弦楽四重奏 公開マスタークラス & レッスン

Phoenix
OSAQA
2016

受講生募集

2016年3月18日(金)~21日(月) 開催

日本を代表する弦楽四重奏団

ジャパン・ストリング・クワルテット が指導

久保陽子 (第1ヴァイオリン) 久合田緑 (第2ヴァイオリン) 菅沼準二 (ヴィオラ) 岩崎 洸 (チェロ)



会 場

大阪・梅田



あいおいニッセイ同和損保

ザ・フェニックスホール

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-15-10

あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内

[JR 大阪駅・各線梅田駅から徒歩約 10 分]

応募締切

2015年12月4日(金)

Phoenix OSAQA (フェニックス 大阪) とは

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール(大阪市北区)は、国内トップ級のベテランアーティストでつくる実力派弦楽四重奏団「ジャパン・ストリング・クワルテット(JSQ)」を講師に迎え、審査で選ばれた若手の弦楽四重奏団を指導・育成、あわせて聴衆の拡大も図る教育・啓発事業「Phoenix OSAQA (Open String Academy for Quartet Artists 弦楽四重奏を志す若者のための自由塾)」を本年度も2016年3月に行います。

この事業は、西洋芸術音楽のジャンルで交響楽や管弦楽と同様、長い歴史と豊かな伝統を持つ室内楽、その中でも特に数多くの名作が作られてきた弦楽四重奏に携わる演奏家と聴衆づくりを目的としています。創設は2007年度で、本年度で9度目です。指導にあたるJSQは、1994年の結成。世界を駆け巡るソリストと、日本を代表するアンサンブルプレーヤーとして活躍してきたベテランが結束した“ハイブリッドな”カルテットで、正に名実共に日本を代表する重鎮のアンサンブルです。彼らが一貫して取り組んできたベートーヴェンの弦楽四重奏曲を題材とし、次代を担う音楽家や聴講の市民の方々に楽曲の真髄や合奏の妙を伝えます。

事業の軸は、JSQメンバーによる楽曲レッスン。公開で行うマスタークラスと非公開のレッスンから成ります。弦楽四重奏団単位の受講でレッスンは2日間にわたり、行われます。また、最終日には、指導を受けた弦楽四重奏団による「修了コンサート」を、ザ・フェニックスホールを会場に公開で行います。指導を受ける若い演奏家たちにとっては、演奏の披露によって指導の成果を確かめ、今後の鍛錬の第一歩としてもらう喜びであり、聴衆にとっては、若くて清新な演奏に親しみ、未来の楽壇を支える逸材に触れるチャンスです。

受講の対象は、関西をはじめ国内外の音楽教育機関や職業オーケストラなどに在籍しているか、あるいはフリーランスで弦楽四重奏を学んでいる若い弦楽器奏者の方々。関西以外の在住でも、この地域になんらかの繋がりを持つ方であれば参加の道は開かれています。受講は無料。日本を代表する弦楽四重奏団、JSQの指導を受けるチャンスです。

学生からプロの方まで、弦楽四重奏を学ぶ意欲溢れた皆様のこの事業への参加を募ります。

開催日程

2016年3月18日 (金)	11時00分～	受講生ガイダンス
	14時00分 開演	ジャパン・ストリング・クワルテット コンサート
	16時30分～	受講生・講師 交流会 (18時00分終了予定)
2016年3月19日 (土)	11時00分～17時40分 (予定)	弦楽四重奏マスタークラス 第1日目
2016年3月20日 (日)	11時00分～17時40分 (予定)	弦楽四重奏マスタークラス 第2日目
2016年3月21日 (月・祝)	15時00分 開演	受講生修了コンサート (公開)
	18時00分～	反省会 (19時30分終了予定)

会場



あいおいニッセイ同和損保

ザ・フェニックスホール

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-15-10
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内

[JR 大阪駅・各線梅田駅から徒歩約 10 分]

TEL.06-6363-0211



講師

ジャパン・ストリング・クワルテット (講師プロフィールは最終面をご覧ください。)

久保陽子(第1ヴァイオリン) 久田 緑(第2ヴァイオリン) 菅沼 準二(ヴィオラ) 岩崎 洸(チェロ)

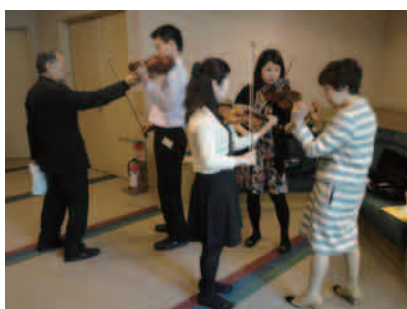
マスタークラス・レッスンについて

■ レッスン方式

- ・レッスンは2日間で3回(1コマ70分)行われます。事務局が受講グループごとに時間割を調整のうえ、2016年1月中旬に各グループに連絡します。
- ・公開マスタークラス(講師2名)と修了コンサートは、ホールで公開します。
- ・その他のレッスン(講師各1名)は、リハーサル室・楽屋で非公開です。
- ・レッスン時間以外は、ホールで聴講、または練習室で練習できます。

■ 練習室

- ・公開マスタークラス受講前に、音出し時間を設けてあります。
- ・練習室は無料で使用できます。ただし、使用可能時間は事務局が指定します。
- ・全レッスンスケジュール終了後(1時間程度)練習室を使えます。



■ レッスンスケジュール (予定)

(注) 受講団体数により、変更が生じる場合がございます。

I	11:00 ~ 12:10	70分
昼休み	12:10 ~ 13:30	80分
II	13:30 ~ 14:40	70分
休憩	14:40 ~ 15:00	20分
III	15:00 ~ 16:10	70分
休憩	16:10 ~ 16:30	20分
IV	16:30 ~ 17:40	70分

応募締切

2015年12月4日(金)必着

結果発表

2015年12月下旬発表予定 (全応募グループに審査結果をご連絡いたします。)

受講料

無料※ 18日(金) ジャパン・ストリング・クワルテット公演チケット(1枚/¥1,000)の購入が必要です。

※受講のために発生する費用(交通費・宿泊費など)は、参加者ご自身の負担となります。また、交通機関、宿泊先の手配・斡旋などはおこなっておりません。

募集団体数

最大8団体

応募資格

音楽専攻課程に在籍中の学生の方(高校、大学、大学院、音楽学校生)、プロフェッショナルな演奏団体に在籍している方、あるいはフリーの演奏家の方によるカルテット。関西をはじめ国内外の方を対象としています。原則として、メンバーが2016年3月31日現在16歳以上で、カルテットメンバーの平均年齢が35歳未満のグループが対象です。

応募方法

所定の応募用紙に必要事項をご記入の上、映像資料を添えてザ・フェニックスホール事務局までお送りいただくか、直接ご持参ください。ご持参いただく場合には、土・日・祝を除く平日の9時から18時までにお越しください。なお、ファックス・電子メールでの応募は受付しておりません。

Phoenix OSAQA
ウェブサイトへ

募集要項の請求も
こちらから!



募集要項・応募用紙はザ・フェニックスホールホームページからもダウンロードできます。

【お問い合わせ・応募用紙の請求】

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー5F
あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
「Phoenix OSAQA 2016 事務局」宛

(提出された応募資料は原則として返却いたしません。返却をご希望の場合は、切手を貼った返信用封筒を同封の上、ご応募ください。)

課題曲

L・v・ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲 下記より1曲 [全楽章]

ベーレンライター版 (Bärenreiter-Verlag)	第1番～第6番	作品18-1～作品18-6
	第7番～第9番	作品59-1～作品59-3「ラズモフスキー第1番～第3番」
	第10番	作品74「ハープ」
	第11番	作品95「セリオートソ」
ヘンレ版 (G. Henle Verlag)	第12番	作品127
	第16番	作品135

■ 使用楽譜・・・各指定出版社の楽譜を使用の上、受講をお願いします。

選考方法

応募書類と映像資料(◎)によりJSQメンバーが選考いたします。

◎映像資料について 任意の弦楽四重奏曲の**全楽章**を収録ください。(ベートーヴェンの作品に限りません。)

- ・2013年10月末日以降に収録された、ご応募いただくグループのメンバーが演奏されている映像に限りです。
- ・資料には、収録日時と場所、演奏曲目を明記し、DVDにまとめてご提出ください。

(注1) 選考に関係の無い映像は削除してください。

(注2) 収録仕様は国内規格に限りです。

(注3) DVDは、一般のDVDプレーヤーでも再生可能な方式を用い、作成機器以外での再生確認を行った上で送付願います。

(注4) ブルーレイディスクは不可。

名実共に日本トップ ジャパン・ストリング・クワルテット

講師紹介

ジャパン・ストリング・クワルテット (Japan String Quartet)

1994年4月、ヴァイオリンの久保陽子と久合田緑、ヴィオラの菅沼準二、チェロの岩崎洸の4人は国際交流基金による日本文化紹介派遣事業の一環としてフランスと中近東を巡演、各地で好評を博した。この成果をもとに翌95年、「ジャパン・ストリング・クワルテット」の前身「クボ・クワルテット」を結成。創立時からベートーヴェンの弦楽四重奏曲の全曲演奏を目的に掲げて研鑽を積み、95年から3年間、計6回にわたり東京・津田ホールで定期公演を行った。演奏の様子がNHKで放映されるなど、多くの室内楽ファンの注目を集めた。そして2000年、彼らはベートーヴェンの魅力の新しい発見を目指し、再び弦楽四重奏曲全曲演奏に挑み始めた。この活動を軸に、異なる作曲家の弦楽四重奏の名作にも取り組み、幅広い聴衆獲得にも努めている。あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールには1996年6月以来出演を重ねている。

久保 陽子 Yoko Kubo (第1ヴァイオリン)

3歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科在学中に、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄に師事。1962年チャイコフスキー国際コンクール第3位、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール、ロン・ティボー国際コンクールで第2位にそれぞれ入賞後、スイスで巨匠ヨーゼフ・シゲティに師事。クルチ国際コンクール第1位。弘中孝と共に桐五重奏団を結成し、1974年民室内楽コンクール入賞、斎藤秀雄賞受賞。現在は、無伴奏作品のリサイタルをはじめとするソロ活動、室内楽活動に力を注いでいる。

久合田 緑 Midori Kugota (第2ヴァイオリン)

東京藝術大学在学中の1968年にJ・D・ロックフェラー3世財団などのスカラシップを得て渡米。ジュリアード音楽院、インディアナ大学に学ぶ。東儀祐二、鷺見三郎、服部豊子、イヴァン・ガラミアン、ジョセフ・ギンゴールド、フランコ・グッリ、アイザック・スターンに師事。1976年より日本での演奏活動を始め、日本テレマンアンサンブルのソリストとして活動した後、「久合田緑弦楽四重奏団」を1994年まで主宰。現在、大阪音楽大学教授、華頂女子高校音楽科芸術顧問・講師、京都市立芸術大学名誉教授。

菅沼 準二 Junji Suganuma (ヴィオラ)

ヴァイオリンを岩崎洋三、ヴィオラを井上武雄に師事。東京藝術大学専攻科修了。巖本真理弦楽四重奏団に長く在籍、ヴィオラ奏者としての力量を認められる。第7回毎日芸術賞、芸術祭賞、レコードアカデミー賞、第22回芸術選奨文部大臣賞、モービル音楽賞、その他受賞多数。1976年から90年までNHK交響楽団首席ヴィオラ奏者を務める。1989年第9回有馬賞受賞。現在、東京藝術大学名誉教授。オホーツク音楽祭 in 紋別のディレクター。NHK交響楽団客演首席奏者。

岩崎 洸 Ko Iwasaki (チェロ)

11歳より斎藤秀雄に師事。桐朋学園高校を経て、アメリカのジュリアード音楽院に留学。レオナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスに学ぶ。ヤング・コンサート・アーティスト・オーディションをはじめとし、カサド、チャイコフスキーなどの国際コンクールに上位入賞。沖縄ムーン・ビーチ・ミュージックキャンプ&フェスティバルのディレクター、倉敷市文化振興財団音楽プロデューサーなどを務める。現在、桐朋学園大学特任教授、大阪音楽大学客員教授。



【お問合せ・応募用紙の請求】

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

「Phoenix OSAQA 2016 事務局」宛

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー 5F

TEL.06-6363-0211 FAX.06-6363-1124

URL:<http://phoenixhall.jp/>

E-mail:concert@phoenixhall.jp



MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。